

第91回火山噴火予知連絡会 全国の火山活動について

2001年10月下旬以降の全国の火山活動状況は以下のとおりです。

三宅島では引き続き多量の火山ガスの噴出を伴う噴煙活動が継続しています。別紙のとおり統一見解を発表しました。

樽前山では、地震活動が一時活発化し、火口の温度も高い状態が続いています。

岩手山では、噴気活動は活発な状態が続いています。

吾妻山では、火山性微動が発生するなど地震活動がやや活発になっています。

これらの火山では、今後も火山活動に注意が必要です。

1. 北海道地方

1) 雌阿寒岳

- ・表面現象、地震活動とも特に変化はありません。

2) 十勝岳

- ・62-2火口は活発な噴煙活動を続けています。
- ・1月4日に振幅の小さな火山性微動がありました。地震活動は低調でした。

3) 樽前山

- ・A火口の温度は、高温の状態が続いています。
- ・火山性地震の一時的な増加が時々あります。

4) 有珠山

- ・金比羅山火口群では、噴気活動と地熱活動は弱まっています。西山西麓火口群でも、活動が弱い状態が継続しています。
- ・地震活動は静穏な状態が続いています。
- ・西山西麓を中心として収縮が続いている地殻変動はゆるやかになり、西山の潜在ドーム周辺ではわずかな収縮・沈降となっています。

5) 北海道駒ヶ岳

- ・表面現象、地震活動、地殻変動とも特に変化はなく、火山活動は静穏な状態が続いています。
- ・1996年の54年ぶりの噴火のあと、2000年11月の小規模な水蒸気爆発まで、小規模な爆発が繰り返し発生したことから、今後も火山活動の推移を注意深く見守る必要があります。

2. 東北地方

1) 岩手山

- ・西岩手の姥倉山から黒倉山の噴気活動は、活発な状態が続いています。
- ・西岩手山で発生する地震の回数には減少傾向が見られます。東岩手では、依然として地震活動が続いています。
- ・広域的には火山活動の低下を示す地殻変動が観測されていますが、黒倉山付近では局所的な地殻変動が続いています。

- ・これらのことから、西岩手では小規模な水蒸気爆発が発生する可能性が依然として残されています。今後も火山活動の推移を注意深く見守る必要があります。

2) 吾妻山

- ・火山性地震は引き続き発生しています。震源は、一切経山南東のごく浅いところに集中しています。
- ・11,12月には火山性微動がありました。
- ・地震活動がやや活発になっています。
- ・今後も火山活動の推移を注意深く見守る必要があります。

3) 安達太良山

- ・火山性地震の活動は低下していますが、10月18,19日に沼ノ平火口から噴気が上がっているのが観測されています。

4) 磐梯山

- ・火山性地震の回数は12月以降、減少しています。
- ・火山性微動、山体直下の浅いところを震源とする低周波地震は、引き続き時々発生しています。
- ・地殻変動には、特に変化は認められません。
- ・今後も火山活動の推移を注意深く見守る必要があります。

3. 関東・中部地方

1) 那須岳

- ・12月8,16日に火山性地震の一時的な増加が見られました。

2) 草津白根山

- ・表面現象、地震活動とも特に変化はなく、火山活動は静穏な状態が続いています。

3) 浅間山

- ・10月21日に空振を伴う火山性地震があり、24日には2年振りに火山性微動がありました。その後も地震活動はやや活発な状態です。
- ・噴煙活動には活発な状態は見られませんでした。

4) 御獄山

- ・表面現象、地震活動とも特に変化はなく、火山活動は静穏な状態で経過しています。

5) 富士山

- ・10月以降、低周波地震の回数は少ない状態が続いています。

6) 伊豆東部火山群

- ・地震活動に特に変化はなく、火山活動は静穏な状態が続いています。

7) 伊豆大島

- ・12月30～31日と1月14～22日に島内で有感地震が発生するなど、地震活動が一時的に活発化しました。
- ・山体膨張の地殻変動が続いていましたが、2001年頃から停滞もしくはわずかな収縮に傾向が変わり、その後、再び膨張に転じています。

8) 新島・神津島

- ・地震活動は新島・神津島付近から三宅島付近にかけて、低調ながらも続いています。
- ・地殻変動は、まだ完全な停止にはいたっていません。

9) 三宅島

- ・別紙のとおり統一見解を発表しました。

4. 九州地方

1) 九重山

- ・表面現象、地震活動とも特に変化はなく、火山活動は静穏な状態が続いています。

2) 阿蘇山

- ・2000年11月29日に中岳第一火口の南側火口壁の一部で観測された赤熱現象は、現在も継続しています。

3) 雲仙岳

- ・表面現象、地震活動とも特に変化はなく、火山活動は静穏な状態が続いています。

4) 霧島山

- ・表面現象、地震活動とも特に変化はなく、火山活動は静穏な状態が続いています。

5) 桜島

- ・南岳の爆発回数は、10月10回、11月9回、12月8回、1月4回でした。
- ・小規模な噴火は引き続き発生しているものの、深部、浅部活動および表面活動から見て、急激に噴火活動が活発化する兆候は認められない。

6) 開聞岳

- ・地震活動が低い状態が続いています。

7) 薩摩硫黄島

- ・島内で時折、降灰が観測されました。
- ・体に感じない微小な火山性地震が多い状態が続き、日に約70～150回発生しています。
- ・2000年12月5日から観測されている間欠的な火山性微動が、引き続き発生しています。
- ・今後も火山活動の推移を注意深く見守る必要があります。

8) 中之島

- ・地震活動が低い状態が続いています。

9) 口永良部島

- ・表面現象、地震活動とも特に変化はなく、火山活動は静穏な状態が続いています。
- ・今後も火山活動の推移を注意深く見守る必要があります。

10) 諏訪之瀬島

- ・10～1月の各月にそれぞれ時折、噴火がありました。
- ・間欠的に小規模な噴火が発生する状態が継続する可能性があります。